



桜組だより

鳴子清涼保育園



梅雨の季節になりました。子ども達は園生活にも慣れ、保育士や友だちとお話しすることが楽しくなってきたようです。子ども同士でも名前を覚えて呼び合ったり、一緒に遊ぼうと照れながら誘う姿が見られ、遊びも少しずつ広がってきました。クラス全体では、「むっくりくまさん」の追いかっこやリズム遊びを楽しんでいます。園庭に出ると「くまさんの追いかっこしよう！」と子ども同士で話す姿も見られ、友だちと関わって遊ぶことが楽しくて仕方がないようです。リズム遊びでは、元気に体を動かしながら楽しんで遊ぶことが出来ました。子ども達同士の関わりを大切にしながら、今月も元気に楽しく過ごしていきたいと思えます。



今月の諺

- ・雨降って地固まる
- ・釣り落した魚は大きい
- ・思い立ったが吉日

今月の歌

- ♪とけいのうた
- ♪どんな色がすき



桜組の子ども達の様子



なんでマスクをするのかな？紙芝居を見ながらみんなで考えました。なぜ？がわかると苦手なマスクもつけられるようになりました。マスクから鼻は出しちゃだめだよ！と教えてくれています。



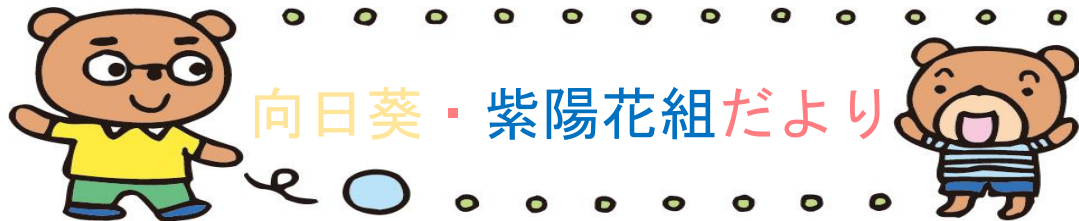
リズム遊びの様子です。ピアノの曲に合わせて、トンボになったり、汽車になったり遊戯室を思いっきり走って楽しんでいます。桜組さんは汽車がお気に入りのようです。

6月生まれのお友だち

6月生まれのお友だちはいません。

今月のねらい

- ・手洗い、うがいをしっかりと行う。
- ・見通しを持って生活をする。



向日葵・紫陽花組だより



雨の日が多い季節がやってきました。その中子どもたちは元気に運動遊びや虫集めなどさまざまな遊びを楽しんで生活しています。ある日の朝、園長先生から豆苗をもらいました。豆苗を見て子ども達が「なにこれー?」「野菜?豆があるよー!」と不思議そうに見ていました。「水をあげれば大きくなることを伝えると「僕(私)がやりたーい!」と言ってくれました。その日から朝の会と帰りの会で豆苗の水やりのお当番が始まりました。日々のお当番活動しながら、「なんか伸びてる気がする!」と微かな成長を感じながら友だち同士で話しあっている姿がありました。みんなの水やりのおかげでしっかり伸びた豆苗ができていました。

そして豆苗の成長を追いかけていくなかで、園生活も楽しんで過ごせるようになってきました。友達に自分の気持ちを少しずつ出せるようになってきましたが、うまく伝わらなかつたり、自分とは違った考えの子がいることに気がつき、“どうしようかな~”と葛藤している様子がありました。1人では体験できない友達と一緒に過ごすことで、遊ぶだけでなくそのことに向き合い、気持ちを共感し、関わりを求めながら信頼を芽生えさせていけるように見守っていきたいと思います。



子どもの姿



みんなでじゃんけん列車をしました。一人ひとりがルールを確認しながら遊び進めていましたよ。



豆苗の次はトマト、ピーマン、ナスを育てます。子どもたちが“どうなるのかな?”と毎日眺めてワクワクしていますよ。

今月の歌
 ・かえるの歌
 ・かたつむり

6月生まれのお友だち
 1名
 お誕生日おめでとう!

今月のねらい
 ・友だちと玩具を共有しながら楽しむ
 ・手洗いうがいをし
 っかりする

今月の俳句
 ・古池や
 蛙飛び込む
 水の音
 芭蕉
 ・かすむ日や
 夕山陰の
 飴の笛
 一茶